

■フラメンコギター■ 友繁健人(ともしげたけと)

1954年兵庫県生まれ、スペインのセビージャ市に在住。

1980年スペイン政府の招聘によりフラメンコギタリストとしては初の名誉留学生として渡西。ただちに名振付師マノロ・マリンに認められ、専属ギタリストとして国内外の劇場、フェスティバル、テレビに出演。

1983年ウエルバ県のフラメンコ後援会より名誉ギタリスト賞を受賞。

1985年セビージャのフラメンコ後援会より名誉ギタリスト賞を受賞。

1988年ビルバオ銀行総裁杯受賞。

1990年～国営ラジオフラメンコ番組専属ギタリスト。

1993年ソロアルバムをリリース。この年のもっともアイルに富んだ純粋なフラメンコとして批評家の絶賛を受ける。

1994年レコード会社OFSを設立し、ソロ・コンパス・シリーズをリリース。発売と同時に世界中から引き合いが来て爆発的な人気を博す。スペイン全土の殆どの舞踏教室に普及し教材として使われている。

2009年指の故障でしばらく中断していた演奏活動を再開。

フラメンコを習っている人なら1枚は持っているSOLO COMPASSシリーズ。開発者が日本人ってご存知ですか？

Sevilla 在住の日本人フラメンコギタリスト友繁健人さんがその人です。

■カンテ(歌)■ マリア・ホセ・アルバレス・カデーナス

《フラメンコギタリスト友繁健人氏パートナーのカンタオーラ Maria Jose Cadenas》

セビージャマカレナ出身。トリアナ在住。

フラメンコ一家に生まれ幼少の頃からフラメンコに親しみ、カンテを学びフラメンコ・ペーニャを舞台とするようになる。セビージャ市主催トリアナでの「アウラ・デ・フラメンコ」や様々なカンテ・フラメンコフェスティバルでその声を披露してきた。現在、ホセ・ガルバン舞踏団などで活躍中。

~~~~~  
『同級生、友繁健人氏との再会』

1969年春、僕たちは杉並区立松の木中学校を卒業した。「また会おうね！」と言ったまま・・・その後は会うこともなく・・・それぞれの道を歩き、噂すら聞くこともなく時が経った。

5年前(2012年)3月、偶然に通りがかった池ノ上駅の商店街はずれ、スペインレストラン「ペキーノ・イ・アミーゴ」のランチメニュー横に、彼のライブチラシを見つけた。それが43年振りの再会のきっかけでした。彼のギタープレイとマリアさんの歌の力に感動し、圧倒されました。

そして今年卒業してから48年となります。偶然の再会が今回のステージにつながりました。

素晴らしいライブを是非ともお楽しみください。

アंक 園山信博

## Baile(踊り)永田健

1999年アントニオ・アロンソ・スペイン舞踊学校でフラメンコを始める。

2002年より2年間スペインのマドリッドに留学、舞踊学校アモール・デ・ディオスで数多くの踊り手に学ぶ。帰国後、アルバ舞踊団に所属。2008年に退団後は稲田進氏に師事する一方、フリーでの活動も開始。日本では数少ない男性の踊り手として全国で活動中。一方でモダンダンス、タップや三味線とのコラボや演劇出演などその活動は多岐にわたる。

2015年には雨の中で撮影したプロモーションビデオ「HEART WASH! -FLAMENCO in the RAIN-」を制作してYoutubeに公開する。またPV及びその他映像を収めたDVDも発売中。

第22回日本フラメンコ協会新人公演 奨励賞受賞(2013年)

第5回エルスール財団 新人賞受賞(2016年)

## Baile(踊り)凌木智里

4歳よりクラシックバレエを始め、コンクールでの入賞などを経て、ロンドンへバレエ留学。

帰国後バレエから一転、ラジオ好きが高じて、日本大学芸術学部放送学科に入学し、ラジオ演出を専攻。卒業後、声を使う仕事の道へ。ラジオDJ・ナレーション・司会・講師などの仕事をする傍ら、フラメンコを始める。飛島加代子氏、近藤尚氏に師事。現在もラジオ・ナレーションなどの声の仕事をしてながら、都内タブラオ・イベントなどでフラメンコライブにも出演中の“踊る喋り屋”。

## バイオリニスト森川拓哉

早稲田大学卒業後、パークリー音楽院に留学。

帰国後、新国立バレエ団公演、小島章司氏の高野山金剛峰寺における奉納舞踊公演をはじめスペイン国立バレエ団ソリストとの共作、バレエダンサー西島数博の公演など数々のフラメンコ、バレエ、舞踊公演における作編曲、音楽監督、演奏を重ねる。またテレビ、ラジオなどの劇版音楽制作からメジャーアーティストのプロデュースなど幅広い作編曲活動を展開し、30カ国以上に渡る民族音楽、奏者との共演から独自の演奏表現を追求している。

## フラメンコパーカッション容昌一ようすけー

米、パークリー音楽大学卒業。在学中「Outstanding Percussionist Award」を受賞。

卒業後、拠点をニューヨークに移し、サルサバンド「OASIS」のメンバーとして活動。

また、プエルトリコに渡りセペーダー一家に伝統音楽を学ぶ。

帰国後フラメンコでの活動を始め、アントニオ・カナーレスやラファエル・アマルゴら数多くの著名なアーティストと共演。

マドリッドにてフラメンコパーカッションをピラーニャらに師事。

現在、フラメンコ・ポップバンド「soluz」を結成。ビクターより1stアルバムをメジャーリリースし、NHK BS 地球テレビ「エル・ムンド」などに出演。

また、サラ・オレイン、井上あずみの「ジブリ名曲セレクション」、CMなどのレコーディング。

フラメンコギタリスト沖仁ツアー参加など、日本で数少ないフラメンコパーカッション奏者として様々な舞台で活動中。